

4 情意面（関心・態度など）の評価

(1) 情意面（関心・態度など）の評価

〔設問 18〕 あなたは、教科に対する「関心・態度」などの情意面の評価を行っていますか。

○ 調査の結果

選 択 肢	小 学 校				中学校	高 等 校	全 体
	低学年	中学年	高学年	計			
ア いつも行っている	13%	12%	4%	9%	12%	16%	12%
イ 行っていることが多い	48	30	45	40	43	43	42
ウ 行っていることが少ない	32	45	45	42	36	30	37
エ ほとんど行っていない	7	13	6	9	9	11	9
回 答 者 数	67人	132人	150人	349人	360人	263人	972人

- 「いつも行っている」と「行っていることが多い」を合わせても、全体の54%にしかならず、約半数が情意面の評価を「行っていることが少ない」か「ほとんど行っていない」と回答している。特に、「ほとんど行っていない」が9%にも達している。
- 校種別にみると、高等学校が「いつも行っている」と「行っていることが多い」を合わせて59%と一番高く、次いで、中学校の55%、小学校の49%の順に下がってくる。小学校のみで見ると、低学年が61%と高い割合を示し次いで中学年、高学年の順である。
- 情意面の評価について、中学校の教科別についてみると次のような結果になる。

選択肢	教 科							
	国語	社会	数学	理科	音楽 美術	保健 体育	技術 家庭	英語
ア いつも行っている	10%	6%	6%	8%	9%	37%	29%	8%
イ 行っていることが多い	37	40	34	39	76	54	39	53
ウ 行っていることが少ない	41	43	46	49	5	9	32	25
エ ほとんど行っていない	12	11	14	4	10	0	0	14
回 答 者 数	73人	47人	66人	50人	23人	35人	28人	36人

国語、数学などのいわゆる知識・理解を主とする教科が、「いつも行っている」と「行っていることが多い」を合わせて40%台と低い割合であるのに対して、音楽・美術、保健体育などの実技をとまなう教科は85~90%と高い割合を示している。特に、保健体育、技術・家庭は、「ほとんど行っていない」は皆無で、教科の特殊性をよく示しているといえよう。